

当別町指定文化財一覧表

R4.9.7

指定番号	品名	説明	所有者	指定年月日	保存状況
1	伊達綱宗画筆三幅対	伊達綱宗（寛永17年1640～正徳元年没1711年）66才（宝永2年1705年）の画いたもので伊達正人が明治25年（1892年）三位男爵位を賜りし折仙台伊達家本藩より御着料1万足1折と共に拝領いたした もの。 左・・・柏雉子 中・・・太公望 右・・・芦鶺鴒 縦214cm横60.5cm	元町 伊達美知子	昭50.7.5	伊達美知子氏が保存していたが、平成30年9月からは当別神社で保存している。
2	打掛（紫色）	延宝3年（1675年）、冷泉家12代当主為清の娘・於妻が、伊達家3代宗親（のち敏親）公へ御入嫁の際に持参したもの。	教育委員会	〃	当別伊達記念館に収蔵し、展示、保存している。
3	振袖（赤色）	宝永2年（1705年）、冷泉家13代当主為綱の娘・伊世が、伊達家4代村泰公へ御入嫁の際に持参したもの。	同上	〃	
4	打掛（白色）	同上	同上	〃	
5	長袴	伊達家5代村緝公（宝永4年（1707年）～享保21年（1736年））が着用したもの。近衛家より拝領品。	同上	〃	
6	のしめ（室内着）及び帯	文化6年生（1809年）伊達家9代義監公が着用した。	同上	〃	
7	陣羽織	天保5年生（1834年）～明治24年没（1891年）伊達家10代邦直公が着用したもの。	同上	〃	
8	火事装束	同上	同上	〃	
9	子供用綿入れ	文久2年生（1862年）～伊達家11代基理公が着用したもの。（慶応、明治初期1825～1872年）	同上	〃	
10	子供用単衣	同上	同上	〃	
11	当別開拓の図	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたもの。（岩出山出身 正蘭氏筆） 縦68cm 横110.5cm	当別神社	〃	
12	伊達邸別館	明治13年建築 木造二階建 89.16㎡	教育委員会	昭55.11.11	町教委所有保存している。
13	当別音頭	当別音頭は、昭和45当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。	当別音頭を守る会	平25.3.27	無形文化財
14	トウベツアカマツセイウチ化石	絶滅した初期のセイウチ科の化石で、時代は中新世後期で約1,000～950万年前。1977年に当別川流域で発見された。この時代のセイウチ科の化石は記録が少なく、セイウチ科の進化の空白を埋める貴重な標本である。	当別町	令4.2.16	北海道大学総合博物館に寄託、展示している。